平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月4日

上場会社名　アルフレッサ ホールディングス株式会社　　上場取引所　東 大
コード番号　2784　URL　http://www.alfresa.com/
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 石黒　傳六
問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員財務・広報IR担当　(氏名) 三宅　俊一　TEL 03-5219-5102

四半期報告書提出予定日　平成23年11月11日　配当支払開始予定日　平成23年12月5日
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　有
四半期決算説明会開催の有無　：　有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	1,146,305	9.7	3,768	△67.8	8,262	△47.6	3,902	△53.1
23年3月期第2四半期	1,045,379	3.1	11,700	122.3	15,776	76.1	8,313	120.3

(注)包括利益　24年3月期第2四半期　4,637百万円　(△33.5%)　23年3月期第2四半期　6,970百万円　(—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	76.20	—
23年3月期第2四半期	165.05	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年3月期第2四半期	1,026,828	239,081	22.9	4,585.29
23年3月期	1,078,863	236,768	21.6	4,541.59

(参考) 自己資本　24年3月期第2四半期　234,845百万円　23年3月期　232,611百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	44.00	—	45.00	89.00
24年3月期	—	45.00			
24年3月期(予想)			—	45.00	90.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,316,000	6.1	8,200	△12.0	16,000	△10.8	8,000	21.4	156.20

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ―社 (社名) 、 除外 ―社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期2Q	51,972,563 株	23年3月期	51,972,563 株
② 期末自己株式数	24年3月期2Q	755,439 株	23年3月期	754,506 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期2Q	51,217,549 株	23年3月期2Q	50,369,653 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続きは終了しておりません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)
1. 本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的と判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は今後の様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。
2. 業績予想に関する事項につきましては、〔添付資料〕3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧下さい。

(四半期決算補足説明資料および四半期決算説明会の内容の入手方法)
当社は、平成23年11月7日(月)に機関投資家・証券アナリスト向け説明会を開催する予定です。なお、この説明会において配布する決算説明資料については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 3
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 3
２．サマリー情報（その他）に関する事項 …… 4
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 4
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 4
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 4
３．四半期連結財務諸表 …… 5
（１）四半期連結貸借対照表 …… 5
（２）四半期連結損益及び包括利益計算書 …… 7
第２四半期連結累計期間 …… 7
（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書 …… 9
（４）継続企業の前提に関する注記 …… 11
（５）セグメント情報等 …… 11
（６）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 12
（７）重要な後発事象 …… 12

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第２四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響が残るものの、サプライチェーンの立て直しと共に回復途上に向かっております。しかし、ギリシャをはじめとするユーロ圏諸国に起因するグローバルな金融不安が円高の長期化や外需縮小を招いております。

医療用医薬品卸売市場におきましては、第１四半期に震災によりメーカーの一部製品に出荷調整の影響があったものの、生活習慣病関連薬、認知症治療薬ならびにウイルスワクチン等が順調に推移したことにより、市場は3.4%伸長（クレコンリサーチ&コンサルティング株式会社推定）いたしました。当社グループにおきましては、前連結会計年度の売上総利益率の大幅な低下を踏まえ、売上総利益の確保に向けた取り組みを強化するとともに一層のローコストオペレーションを推進し、売上高の伸長を図りました。またシステム面において、災害時における医薬品の安定供給体制を強化すべくグループ基幹システムのディザスターリカバリーを平成24年１月に構築稼動する準備を進めております。

このような状況のもと当第２四半期連結累計期間の業績は、昨年10月の丹平中田株式会社の連結子会社化が寄与したことなどにより売上高は1兆1,463億5百万円（前年同期比9.7%増）、営業利益は37億68百万円（前年同期比67.8%減）、経常利益は82億62百万円（前年同期比47.6%減）、四半期純利益は39億2百万円（前期同期比53.1%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

〔医薬品等卸売事業〕

医療用医薬品卸売事業におきましては、前連結会計年度における価格交渉の難航等に起因する販売価格低下の影響を考慮して、お得意様と慎重な価格交渉を行うと共に、販売費および一般管理費の一層の低減を行っております。物流面では、アルフレッサ株式会社において平成24年５月の稼動を目指して小牧物流センター（愛知県小牧市）に代わる新たな物流センター（愛知県一宮市）を建設しております。

セルフメディケーション卸売事業におきましては、シーエス薬品株式会社のセルフメディケーション卸売事業を会社分割により、丹平中田株式会社（本年10月１日付にて商号をアルフレッサヘルスケア株式会社に変更）と本年10月に事業統合し、営業拠点および物流センターを集約すると共に、セルフメディケーション卸売事業の統合システムを稼動する等事業基盤を強化いたしました。なお、本年11月からの予定で株式会社モロオ（本社：札幌市中央区）の一般用医薬品等卸売事業のうち量販事業を譲り受け、北海道に営業展開し、セルフメディケーション卸売事業の営業ネットワークの拡充を進めております。

当第２四半期連結累計期間の業績は、売上高1兆1,377億57百万円（前年同期比9.7%増）、営業利益33億22百万円（前年同期比70.5%減）となりました。

〔医薬品等製造事業〕

前連結会計年度に製造承継したうつ病・うつ状態治療剤／遺尿症治療剤「トフラニール®錠10mg、同錠25mg」や整形外科領域における体内脊椎固定用ケーブル「ネスプロンケーブルシステム」の販売強化に取り組む一方で、製造原価の低減を目的とした受託製造の拡大を進めております。また開発面では、「モディオダール®」（ナルコレプシー治療剤）の閉塞型睡眠時無呼吸症候群（OSAS）に関する適応症追加の開発および「テトラベナジン」（ハンチントン病を含む不随意運動障害治療剤）の開発を進めております。

当第２四半期連結累計期間の業績は、売上高128億17百万円（前年同期比8.1%増）、営業利益2億21百万円（前年同期比187.0%増）となりました。なお、売上高にはセグメント間の内部売上高42億68百万円（前年同期比17.8%増）を含んでおります。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

〔資産の部〕

当第２四半期末における総資産は、前連結会計年度末と比較して520億35百万円減少し、1兆268億28百万円となりました。流動資産は、前連結会計年度末と比較して532億96百万円減少し、8,462億89百万円となりました。これは主に、「受取手形及び売掛金」が110億96百万円、「未収入金」が33億35百万円増加した一方で、「現金及び預金」が575億45百万円、「商品及び製品」が83億円、「有価証券」が10億3百万円それぞれ減少したことによるものであります。固定資産は12億61百万円増加して1,805億38百万円となりました。これは主に、破産更生債権等の「その他」が33億40百万円、貸倒懸念債権の減少により「貸倒引当金」が7億88百万円それぞれ減少した一方で、取得等により「投資有価証券」が39億8百万円増加したことによるものであります。

〔負債の部〕

当第２四半期末における総負債は、前連結会計年度末と比較して543億47百万円減少し、7,877億47百万円となりました。流動負債は前連結会計年度末と比較して537億11百万円減少し、7,565億81百万円となりました。これは主に、「支払手形及び買掛金」が495億21百万円、「未払法人税等」が32億92百万円、未払金及び未払費用等の「その他」が11億93百万円それぞれ減少したことによるものであります。固定負債は6億35百万円減少して311億65百万円となりました。これは主に「長期借入金」が返済等により6億40百万円減少したことによるものであります。

〔純資産の部〕

当第２四半期末における純資産は、前連結会計年度末と比較して23億12百万円増加し、2,390億81百万円となりました。これは主に、四半期純利益の計上等により「利益剰余金」が15億32百万円増加し、保有投資有価証券の時価評価額の変動により「その他有価証券評価差額金」が6億65百万円増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は22.9％（前連結会計年度末は21.6％）となりました。

〔連結キャッシュ・フローの状況〕

当第２四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ、627億29百万円減少し、720億10百万円となりました。当第２四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果減少した資金は491億6百万円（前年同期は128億6百万円の増加）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益72億円、減価償却費39億2百万円、のれん償却額が5億83百万円ならびにたな卸資産の減少が82億37百万円あった一方で、仕入債務の減少が493億72百万円、売上債権の増加額が91億56百万円、法人税等の支払が66億99百万円、ならびに未収入金の増加が36億31百万円あったことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果減少した資金は102億68百万円（前年同期比32億25百万円増）となりました。これは主に、定期預金の払戻による収入109億66百万円や有価証券の取得による支出150億円のほか、物流センターおよび支店の建築費用等の有形固定資産の取得による支出35億95百万円、投資有価証券の取得による支出31億28百万円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果減少した資金は34億66百万円（前年同期比3億53百万円減）となりました。これは主に、配当金の支払額23億4百万円、リース債務の返済による支出8億70百万円ならびに長期借入金の返済による支出4億39百万円があったことによるものであります。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、平成23年５月10日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

２．サマリー情報（その他）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

（追加情報）

当第１四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号　平成21年12月４日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号　平成21年12月４日）を適用しております。

４．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成23年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成23年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	131,091	73,545
受取手形及び売掛金	550,216	561,313
有価証券	16,049	15,045
商品及び製品	126,356	118,056
仕掛品	523	428
原材料及び貯蔵品	1,383	1,538
未収入金	61,273	64,608
その他	13,573	12,415
貸倒引当金	△880	△662
流動資産合計	899,586	846,289
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	33,709	32,944
土地	51,618	50,621
その他（純額）	9,631	11,597
有形固定資産合計	94,959	95,163
無形固定資産		
のれん	2,800	2,217
その他	4,670	4,952
無形固定資産合計	7,470	7,169
投資その他の資産		
投資有価証券	52,615	56,524
その他	29,047	25,707
貸倒引当金	△4,815	△4,027
投資その他の資産合計	76,848	78,205
固定資産合計	179,277	180,538
資産合計	1,078,863	1,026,828

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成23年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成23年９月30日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	778,474	728,952
短期借入金	3,478	3,880
1年内償還予定の社債	60	30
未払法人税等	6,973	3,680
賞与引当金	5,746	5,671
その他	15,560	14,367
流動負債合計	810,293	756,581
固定負債		
長期借入金	3,445	2,804
退職給付引当金	14,823	15,359
その他	13,533	13,002
固定負債合計	31,801	31,165
負債合計	842,094	787,747
純資産の部		
株主資本		
資本金	18,454	18,454
資本剰余金	84,205	84,205
利益剰余金	122,978	124,510
自己株式	△847	△850
株主資本合計	224,791	226,321
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	13,584	14,249
繰延ヘッジ損益	0	△0
土地再評価差額金	△5,724	△5,691
為替換算調整勘定	△39	△33
その他の包括利益累計額合計	7,820	8,524
少数株主持分	4,157	4,236
純資産合計	236,768	239,081
負債純資産合計	1,078,863	1,026,828

（２）四半期連結損益及び包括利益計算書
（第２四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）
売上高	1,045,379	1,146,305
売上原価	968,963	1,075,515
返品調整引当金戻入額	843	900
返品調整引当金繰入額	857	696
売上総利益	76,402	70,993
販売費及び一般管理費	64,702	67,225
営業利益	11,700	3,768
営業外収益		
受取利息及び配当金	706	848
受取情報料	2,446	2,691
貸倒引当金戻入額	－	191
債務保証損失引当金戻入額	0	21
その他	1,133	919
営業外収益合計	4,286	4,672
営業外費用		
支払利息	71	80
不動産賃貸費用	29	43
その他	109	54
営業外費用合計	210	178
経常利益	15,776	8,262
特別利益		
固定資産売却益	71	76
投資有価証券売却益	140	0
抱合せ株式消滅差益	41	6
災害見舞金	－	200
受取和解金	－	40
収用補償金	110	－
退職給付制度改定益	18	－
特別利益合計	381	323
特別損失		
固定資産売却損	－	53
固定資産除却損	45	70
減損損失	193	229
投資有価証券売却損	241	0
投資有価証券評価損	206	220
特別退職金	26	82
事業再編費用	－	515
災害による損失	－	177
事業構造改革費用	－	33
役員退職慰労金	75	－
関係会社事業損失引当金繰入額	50	－
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	44	－
特別損失合計	883	1,384
税金等調整前四半期純利益	15,274	7,200

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）
法人税、住民税及び事業税	6,972	3,466
法人税等調整額	△218	△232
法人税等合計	6,754	3,234
少数株主損益調整前四半期純利益	8,520	3,966
少数株主利益	206	64
四半期純利益	8,313	3,902
少数株主利益	206	64
少数株主損益調整前四半期純利益	8,520	3,966
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,532	665
繰延ヘッジ損益	△0	△0
為替換算調整勘定	△17	5
その他の包括利益合計	△1,549	670
四半期包括利益	6,970	4,637
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	6,766	4,572
少数株主に係る四半期包括利益	203	65

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	15,274	7,200
減価償却費	3,321	3,902
減損損失	193	229
のれん償却額	1,145	583
貸倒引当金の増減額（△は減少）	0	△1,006
賞与引当金の増減額（△は減少）	△80	△75
役員賞与引当金の増減額（△は減少）	△118	△139
役員退職慰労引当金の増減額（△は減少）	△663	△254
退職給付引当金の増減額（△は減少）	△106	430
受取利息及び受取配当金	△706	△848
支払利息	71	80
固定資産売却損益（△は益）	△71	△22
固定資産除却損	45	70
投資有価証券評価損益（△は益）	206	220
退職給付制度改定損益（△は益）	△18	－
抱合せ株式消滅差損益（△は益）	△41	△6
事業再編費用	－	515
災害による損失	－	177
事業構造改革費用	－	33
収用補償金	△110	－
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	44	－
売上債権の増減額（△は増加）	△6,212	△9,156
たな卸資産の増減額（△は増加）	△1,541	8,237
未収入金の増減額（△は増加）	2,110	△3,631
仕入債務の増減額（△は減少）	3,801	△49,372
その他	446	448
小計	16,992	△42,381
利息及び配当金の受取額	723	861
利息の支払額	△72	△78
事業再編費用の支払額	－	△307
災害による損失の支払額	－	△394
事業構造改革費用の支払額	－	△107
法人税等の支払額	△4,837	△6,699
営業活動によるキャッシュ・フロー	12,806	△49,106

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△302	△144
定期預金の払戻による収入	113	10,966
有価証券の取得による支出	－	△15,000
有形固定資産の取得による支出	△5,833	△3,595
有形固定資産の売却による収入	71	1,243
無形固定資産の取得による支出	△354	△595
長期前払費用の取得による支出	△1,016	△47
投資有価証券の取得による支出	△254	△3,128
投資有価証券の売却による収入	414	2
貸付けによる支出	△35	△435
貸付金の回収による収入	155	497
その他	－	△33
投資活動によるキャッシュ・フロー	△7,042	△10,268
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	△775	200
長期借入れによる収入	691	－
長期借入金の返済による支出	△364	△439
社債の償還による支出	－	△30
リース債務の返済による支出	△1,134	△870
自己株式の取得による支出	△2	△2
自己株式の売却による収入	0	0
配当金の支払額	△2,216	△2,304
少数株主への配当金の支払額	△18	△18
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,820	△3,466
現金及び現金同等物に係る換算差額	△8	2
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	1,934	△62,838
現金及び現金同等物の期首残高	95,330	134,740
合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	28	108
現金及び現金同等物の四半期末残高	97,293	72,010

（４）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（５）セグメント情報等

【セグメント情報】

Ⅰ．前第２四半期連結累計期間（自平成22年４月１日 至平成22年９月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			調整額（注）１	四半期連結財務諸表計上額（注）２
	医薬品等卸売事業	医薬品等製造事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,037,141	8,237	1,045,379	－	1,045,379
セグメント間の内部売上高又は振替高	1	3,622	3,623	(3,623)	－
計	1,037,142	11,860	1,049,003	(3,623)	1,045,379
セグメント利益	11,245	77	11,322	377	11,700

（注）１．調整額の内容は以下の通りであります。

セグメント利益　（単位：百万円）

利益	金額
セグメント間取引消去	4,166
全社費用※	(3,788)
合計	377

※全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない本社の一般管理費であります。

２．セグメント利益は四半期連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

該当事項はありません。

（のれんの金額の重要な変動）

該当事項はありません。

（重要な負ののれん発生益）

該当事項はありません。

Ⅱ．当第２四半期連結累計期間（自平成23年４月１日 至平成23年９月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			調整額（注）１	四半期連結財務諸表計上額（注）２
	医薬品等卸売事業	医薬品等製造事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,137,757	8,548	1,146,305	－	1,146,305
セグメント間の内部売上高又は振替高	0	4,268	4,269	(4,269)	－
計	1,137,757	12,817	1,150,574	(4,269)	1,146,305
セグメント利益	3,322	221	3,544	224	3,768

（注）１．調整額の内容は以下の通りであります。

セグメント利益　（単位：百万円）

利益	金額
セグメント間取引消去	3,873
全社費用※	(3,649)
合計	224

※全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない本社の一般管理費であります。

２．セグメント利益は四半期連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）
該当事項はありません。

（のれんの金額の重要な変動）
該当事項はありません。

（重要な負ののれん発生益）
該当事項はありません。

（６）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

（７）重要な後発事象
該当事項はありません。